

学校における暑さ対策用品の使用について

今年も暑い季節がやってきました。気温の上昇とともに子どもたちの熱中症へのリスクが高まっています。暑さ対策は、熱中症予防に欠かせません。最近では、様々な暑さ対策用品が登場し、種類も豊富になってきています。それぞれの用品における学校での使用についてまとめました。目安としてご参考にしてください。(昨年度との変更はありません)

【栄養補給用品】

スポーツドリンク

- ・ペットボトルで持ってくる場合は記名してください。

塩分チャージタブレット

- ・原則、校内で教師の監督のもと摂取します。

【冷感グッズ】

冷感タオル

- ・運動時、危険が予想される場合は、教師が外す指示をします。

アイスリング

- ・紛失防止のため、基本的に身に付けて取り外ししません。

電動扇風機などの電池式、充電式の用品

- ・安定した保管場所がなく、破損防止の観点から使用はご遠慮ください。

【通学かばん】

- ・ランドセルからナップザック、リュックサックなどに変更可です。

学習用タブレットを持ち帰る際は、タブレットの破損を防ぐため、タオルでくるむ、水筒などのかたいものを一緒に入れないなどの工夫をするようにしてください。

※ なお、児童間の貸し借りや共有は、感染予防、トラブル防止の観点から禁止とさせていただきます。また、記名ができるものについては、必ず記名をするようお願いいたします。

※ 熱中症が心配される季節においては、体育指導時や屋外で活動する際は、マスクを外すよう指示する場合があります。ご理解ください。